

## 事業委員会

- ・ 内容：狭山市民芸術祭、桜まつりなど、方向性の検討と運営委員会への提案  
実行委員会組織の具体案の検討と立ち上げ  
制作部門（音響、照明、その他の舞台技術）などの専門家、または舞台づくりに興味のある方への呼びかけと組織作りの検討
- ・ 課題：制作スタッフの育成など

## 7月8日（土）「文化体験フェスタ」開催！

第10回「青少年文化体験フェスタ」が、狭山市立入間小学校を会場に行われます。

「青少年文化体験フェスタ」は、小・中学生が伝統文化等のさまざまな文化活動を早期に体験し、子ども達との交流を通じて、地域文化の普及と発展を図ることを目的とした、文団連発足以来の自主事業です。

今回は、トータル14の体験テーマに、延べ280名余の子ども達が参加の予定です。

詳細は来月号でレポートします。ご期待ください。



第9回文化体験フェスタ（昨年12月）



## ----- さやま・文化の息吹 -----

### 外部へ開く童句の窓口

< 童心で詠む有季定型の俳句 > を童句と名付け、創始したのは、童話作家の土家由岐雄（つちやゆきお）先生です。

土家先生の終（つい）の住みかとなった狭山市は < 童句発祥のまち > と呼ばれるようになりました。

狭山市内で活動する童句サークル「狭山童句研究会」（渡川誠会長）を軸に、関係団体を結集した組織が < 童句振興協会 > です。「全国童句まつり」を主催し、外部に対し童句情報発信の役割をになっているのが、協会です。

文団連に名を連ねさせて頂いて5年 --- 市民芸術祭、桜まつり青少年文化体験フェスタにも参加してきましたが、最近は本来の役割である < 童句情報の発信基地 > としての活動が中心になりつつあります。

2004年6月発行の『童句集ひだまり』は、日本文芸アカデミー賞を受賞しています。

童句振興協会・会長 広沢一岐

白魚の 黒目パッチリ 椀の中  
ハンカチを 広げるように 蝶の羽化 典子 誠  
缶蹴りの 音のする先 山笑う 千恵子  
寄せ書きの 思い出胸に 卒業す 浩子  
口染めて 下りる桑の木 くわいちこ 一岐  
(童句集ひだまりより)

ネットワークニュース6月号に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。「さやま・文化の息吹」中、「狭山つみ太鼓」は「狭山茶つみ太鼓」の誤りです。(広報委員会)